



なるほど！
 よいよい授業づくりは、人権教育、
 生徒指導、特別支援教育に
 つながるんだな！

これで
 スツキリ！

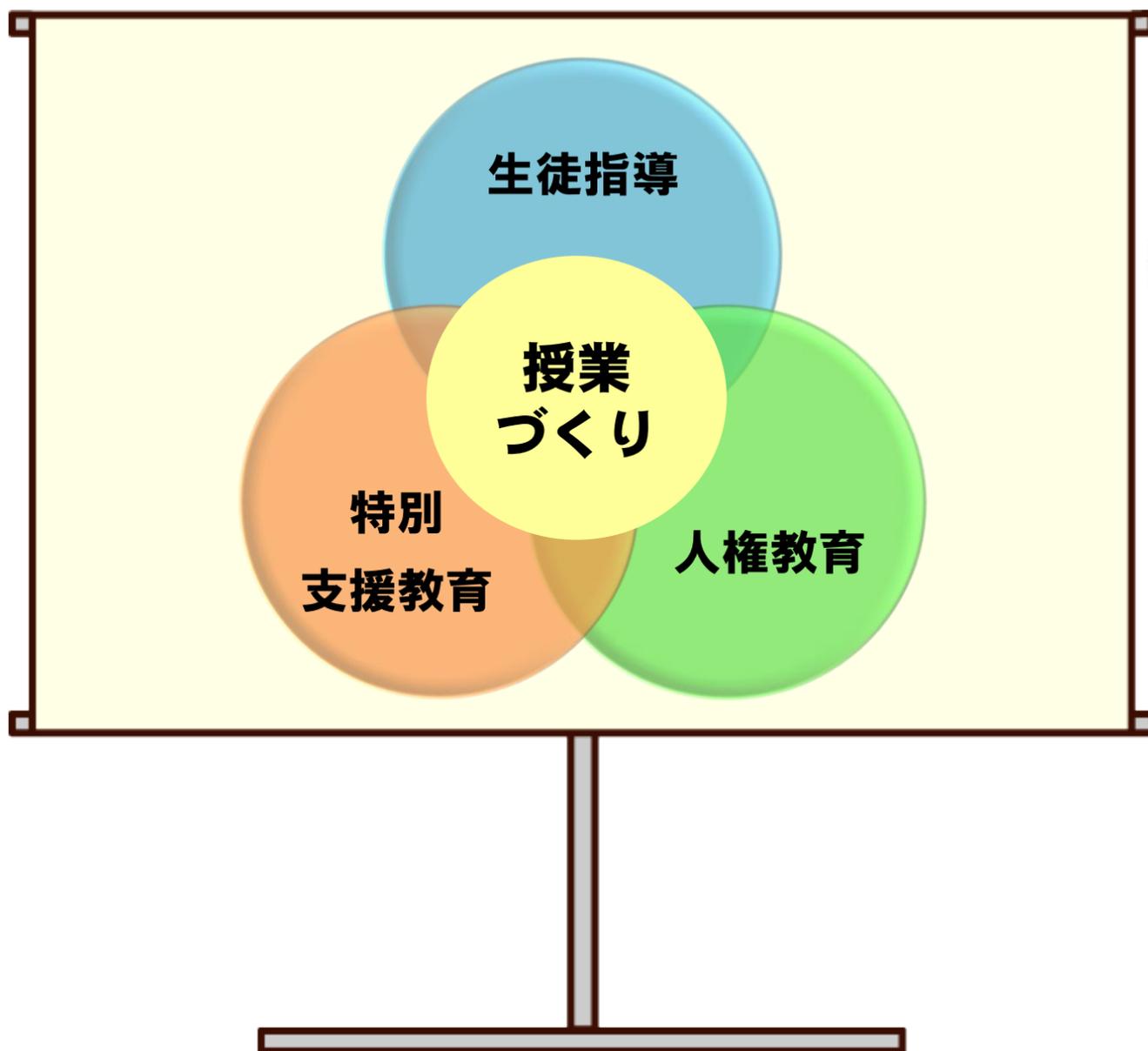
授業づくり虎の巻

授業づくりと**人権教育**、**生徒指導**、**特別支援教育**は、別々のものでしょうか？

実は、これらのものは、お互いに深く関わり合っており、決して別々のものではありません。

このリーフレットは、1時間のよりよい**授業づくり**について、**人権教育**、**生徒指導**、**特別支援教育**の視点から整理したものです。

授業改善のポイントや、そのための手立てが満載です。ぜひ、ご活用ください。



Q1. 人権教育とは？

A1.

福岡県人権教育推進プランでは、「人権教育は、**人権に関する知的理解と人権感覚**の涵養を基盤として、意識、態度、実践的な行動力など様々な資質や能力を育成し、発展させることをめざす総合的な教育である。」としています。

※学校における人権教育の目標は

- 人権に関する知的理解の深化と人権感覚の育成
～**人権尊重精神の育成**～
- 自立・自己実現を図るための支援
～**進路と学力の保障**～

Q2. どうすれば人権感覚を育成することができますか？

A2.

人権感覚を育成する基礎となる資質・能力は、児童生徒が自ら主体的に、しかも学級の他の児童生徒たちとともに学習活動に**参加**し、**協力的**に活動し、**体験**することを通してはじめて身につくといえます。日々の授業では次の点を意識することが大切です。

○**「学習に参加している」という実感を持たせる**
授業に参加できてこそ、その後の学習活動の中で「自分が必要とされている」という有用感や「**できた**」「**わかった**」という成就感・達成感を実感できるようになります。

○**自己決定・選択**の場を設定する
自分で「**感じ**、**考え**、**行動する**」主体的な学習を設定することで、人権教育の目標である「自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動」ができる力を高めることができます。

○**交流活動**を位置づけた授業づくりをする
交流活動では「**参加**」「**協力**」「**体験**」を重視し、「自分が受け入れられている」「共に学び合う仲間だ」と実感できる雰囲気をつくるのが大切です。

○**一人一人を大切に**する姿勢を見せる

自分が大切にされてこそ、他の人を大切にできる心が育ちます。人権が大切にされた雰囲気や環境の中で学ぶ心地よさを、経験させることが必要です。

○**学びやすい学習環境を整える**

時間や学習のルールが守られ、学びやすい学習環境が整っていることは人権教育成立の基盤です。

Q3. 生徒指導とは？

A3.

社会の中で自分らしく生きることができる大人へと児童生徒が育つように、その成長・発達を促したり支えたりする意図でなされる働きかけの総称のことです。**自己指導能力**の育成をめざすすべての活動であると言えます。

※**自己指導能力**とは「その時その場で自分にとって他人にとってもよい行いを考え、実行できる力」

Q4. どうすれば自己指導能力を高めることができますか？

A4.

基本的な教師の姿勢、態度を基盤として、**3つの留意点**を取り入れた授業を実践していくことで高まります。

【**基本的な教師の姿勢、態度**】

児童生徒理解に基づく受容・共感や規律を守るといった、毅然とした態度をバランスよく両立させた姿勢や態度のことです。

右の3つの留意点が働くために必要なものでもあります。

○**自己決定の場**をつくる
自分の行動を選択、決定、実行し責任をとるという経験をもたせることです。自己理解・受容を深め、自主性等を高めます。

○**共感的人間関係を育む工夫**をする
共感的人間関係とは「人間的なふれあい」のことであり、「**You are O.K.**」の感覚を培うことです。他者理解・受容を深め、自律性等を高めます。

○**自己存在感を与える工夫**をする
一人一人が活かされている、大切にされているという実感をもたせることであり、「**I am O.K.**」の感覚を培うことです。有用感、有能感、自尊感情、自発性等を高めます。

Q5. 特別支援教育とは？

A5.

障害のある児童生徒が**自立**し、**社会参加**するために必要な力を培うため、**一人一人の教育的ニーズ**を把握し、その可能性を最大限に伸ばし、**生活や学習上の困難を改善又は克服**するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

※通常学級において、障害の有無にかかわらず、様々な配慮が必要な児童生徒がいます。そのような児童生徒に対しても、特別支援教育の考え方を取り入れた指導や支援が有効です。

Q6. 具体的には指導の工夫はどのようにしたらよいですか？

A6.

一つの例ですが、次にあげる3つの視点から工夫することは、様々な学習活動の手助けになります。

○**焦点化**
授業のねらいや活動を絞る。
教えることを絞って活動をシンプルにする。

○**視覚化**
視覚的な手掛かりを有効に活用する。
見せるタイミングや順序を考える。

○**共有化**
話し合い活動を組織化する。

子どもによっては、このような工夫をしても、活動が停滞する場合があります。そのときには、以下のような支援が有効です。

(例)

- ・穴あきプリントや読み仮名つきのプリントを準備する。
- ・ペア学習のときに、教師が支援に入る。
- ・ヒントカードを準備する。